

第7回
新巖木高校
設置準備委員会
(資料)

平成28年8月31日
佐賀県教育委員会

目次

	頁	
資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第 1 次） 第 6 回及び第 7 回新高校設置準備委員会報告まとめ・・・・・・・・・・	1
資料 2	校章・キャッチフレーズ・マスコットキャラクターについて・・	6
資料 3	制服・体操服・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
資料 4	体験学習・総合的な学習の時間・・・・・・・・・・・・・・・・	12
資料 5	学校設定教科・科目について・・・・・・・・・・・・・・・・	14
資料 6	部活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
資料 7	年間行事計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
資料 8	新高校設置準備委員会設置要領・・・・・・・・・・・・・・・・	17
資料 9	新巖木高校設置に向けた検討体制・・・・・・・・・・・・・・・・	19
資料 10	新巖木高校設置準備委員会委員構成・・・・・・・・・・・・・・・・	20
別冊資料	『新巖木高校改編計画検討中間まとめ』	

新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第 1 次）
第 6 回及び第 7 回新高校設置準備委員会報告まとめ

第 6 回設置準備委員会

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成 28 年 5 月 16 日（月） 15 時～16 時 30 分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4 人 地域関係委員 10 人 県教育委員会関係委員 8 人
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成 28 年 5 月 18 日（水） 10 時～11 時 15 分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4 人 地域関係委員 11 人 県教育委員会関係委員 8 人
伊万里地区（第 5 回） ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成 28 年 5 月 20 日（金） 10 時～11 時 30 分 伊万里農林高校 視聴覚室	学校関係委員 4 人 地域関係委員 7 人 県教育委員会関係委員 8 人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成 28 年 5 月 30 日（月） 10 時 30 分～12 時 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4 人 地域関係委員 10 人 県教育委員会関係委員 8 人
唐津地区 ・ 巖木高校	平成 28 年 5 月 31 日（火） 15 時 00 分～16 時 10 分 巖木高校 同窓会館	学校関係委員 3 人 地域関係委員 5 人 県教育委員会関係委員 9 人

伊万里地区については第 5 回設置準備委員会。

2 主な意見等

地区	主な意見等
鹿島地区	<p>生徒配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちや OB にとっては、鹿島高校と鹿島実業高校は昔から姉妹校という意識があり、一つ屋根の下で学ぶということでの一体感に拘る必要はないのではないか。 ・ 校名・校歌等を統一することで、学校の一体感の醸成は十分可能ではないか。 ・ 平成 30 年度からの急激な体制の変化に対する職員の不安も大きいため、再編当初は現状の生徒配置とし、生徒・職員ともに少しずつ一体感を高めながら、平成 32 年度以降の生徒配置については少し時間をかけて検討を行っていきたい。 <p>（事務局案＜普通科を鹿島校舎、専門学科を鹿島実業校舎に配置＞のとおり承認）</p> <p>教育課程・校時について</p>

地区	主な意見等
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単位数（授業時間数）や校時が両校舎で揃っていなければ、部活動の開始時間がずれるので、その点についても、今後の検討課題として欲しい。 <p>校名・校歌・制服等の検討方法について</p> <p>校名検討方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大人の意見だけではなく、子どもたちの意見も反映される場面もあっていいのではないか。 ・ 設置準備委員会の委員の意見を取り入れるなら、一旦公募をして、その中から選ぶという方法が良い。 <p>（校名検討方法は「公募」とすることで委員了承） （「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認）</p> <p>校歌・校章・制服等の検討について</p> <p>（校内検討委員会を中心に検討をするという事で委員了承）</p>
杵島地区	<p>校名・校歌・制服等の検討方法について</p> <p>校名検討方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 透明性や公平性、アピール性、全国的な流れ等を考えて、公募でよいと思う。 ・ 新高校ができるという認知が得られ、地域全体の方が一緒に新高校のことを考えるという意味では、公募の方がよい。 <p>（校名検討方法は「公募」とすることで委員了承） （「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認）</p> <p>校歌・校章・制服等の検討について</p> <p>（校内検討委員会を中心に検討をするという事で委員了承）</p>
伊万里地区	<p>新高校の学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学科の検討については、お互いの学校同士で綱引きをするのではなく、PTA、同窓会、先生方で、どの学科やコースがいいのかを議論させて頂きたい。その際は、農業と商業の融合学科も検討しなければならないと思う。 ・ 現在、農業と商業の融合学科の要請度は高いと思う。5学級規模の教員数で6学級の運営をすることはかなり難しいだろう。 <p>新高校の校地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開校まで残りあと3年で、校舎、実習地等を整備するのは時間的に厳しい。今の施設を使いながら、平成31年は校舎制で開校としないと、準備が伴わない。

地区	主な意見等
	<ul style="list-style-type: none"> 普通教科の担当教員の移動については、移動をしなくて済むようにカリキュラムを調整すればよい。
嬉野地区	<p>平成 30 年度（開校時）の学級、学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> 開校時の学科が 1 年間で変わるよりも、開校時から新しい形でのスタートであるという方が子供たちにも分かりやすい。 <p>（塩田校舎...機械科、電気科、建築科 各 40 人 計 120 人 3 学級 嬉野校舎... 3 系列（情報ビジネス系列、観光・流通系列、社会福祉系列） 計 80 人 2 学級で委員了承）</p> <p>新高校の校名の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな所から公募した方が中立性があると思う。多くの人が関心を持つ意味でもいいのではと思う。 校名を募集する時には、名前を挙げた理由というのを付けるようにした方が良い。 <p>（校名検討方法は「公募」とすることで委員了承） （「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認）</p> <p>新高校の新校章、新校歌、新制服の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 制服に関連して、保護者からは県立高校も入学時にまとまったお金がかかるという話をよく聞く。現状よりもあまり高くないような金額にしてほしい。 <p>（校内検討委員会を中心に検討をするという事で委員了承）</p>
唐津地区	<p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> 中途の進路変更を考慮して、1 年次に必履修科目を履修させたいので、数学と英語については、基礎科目を履修した後、必履修科目である数学、コミュニケーション英語 を履修できるようにしたい。 <p>校名・校歌・制服等の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 校名を変える必要はない。伝統は守っていくべきである。 校章については、デザインはもう少しと思うが、変える必要はない。 制服については、先生方の指導のしやすい方向で何かあれば検討しても良いが、特に保護者の方からの意見はない。 <p>（校名、校歌、校章については、現行通りとすることで委員了承）</p>

第7回設置準備委員会

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成28年 7月26日(火) 15時～16時30分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 10人 県教育委員会関係委員 8人
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成28年 7月27日(水) 10時～11時30分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 8人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成28年 7月27日(水) 15時～16時30分 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 10人 県教育委員会関係委員 8人

伊万里地区については、第6回設置準備委員会を8月30日(火)に実施。

2 主な意見等

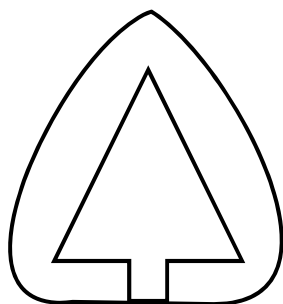
地区	主な意見等
鹿島地区	<p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の配置について、教科の教員数を削って養護教諭を賄わなければならない状況については、是非次回の委員会でその対応についての提案をお願いしたい。 <p>校時表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい校時は、いつから全校で導入するのか。 <p>部活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動のチーム編成についてはどうなるのか。 <p>校名募集状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校名検討委員会で校名候補の絞り込みをするという事だが、その結果は公表するのか。
杵島地区	<p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科と商業科で卒業単位が異なるが問題ないのか。 ・ 職員配置については、管理職と養護教諭の各校舎への配置が不可欠であり、また、教育の充実のためには1人でも教諭が多い方が良い。 <p>移動手段について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動や学校行事における生徒の移動手段として、バスは準備してもらえるのか。 <p>学校目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標が多すぎて軸が定まらないため、整理が必要である。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在想定している職員配置でカリキュラムが実施できるのか、部活動が維

地区	主な意見等
	持できるのか等のシミュレーションが必要ではないか。
嬉野地区	<p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば「総合的な学習の時間」や「産業社会と人間」を共通科目としたプログラムを考えても良いと思う。 ・ 職員配置について、特に養護教諭は是非両校舎に配置をしていただきたい。 <p>部活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動での移動は、貸切バスや公共のバスを利用しなければなかなか難しいと思う。 ・ 中学生が高校を選ぶときに、部活動というのは非常に大きなウェイトを占めている。どこで活動をするかというのは、保護者の送迎にも影響してくる。試算をして現実的に考えてほしい。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新高校に関することについては、在校生にもしっかりと説明してほしい。 ・ 今までどおり塩田校舎は学年制、嬉野校舎は単位制で行うという理解でよいか、検討をしてもらいたい。

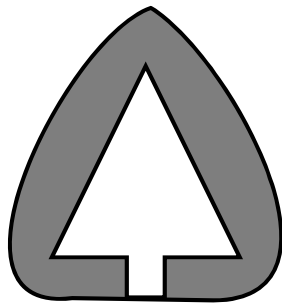
校章・キャッチフレーズ・マスコットキャラクターについて

1 校章

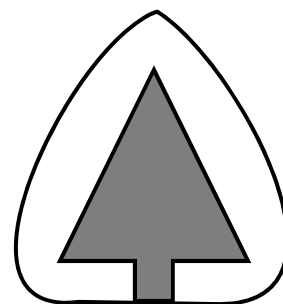
第6回設置準備委員会で、現校章を引き継ぐ（アレンジの余地はある）ことを承認していただいたが、その後校内で検討した結果、下記の理由で校章を次のデザイン（案）で再提案したい。



【基本形】



【周囲を塗りつぶしたもの】

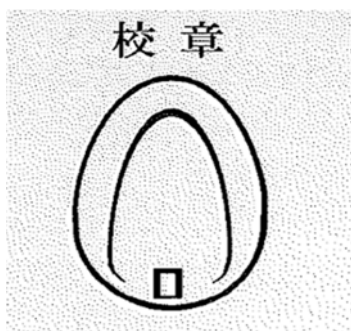


【中央部を塗りつぶしたもの】

【理由】

- ・現在学校で使用している校章のデザインが複数あり、新高校としてスタートするに当たりデザインを統一したい。
- ・現校章は、デザインとしてわかりづらいという意見が多く、現在スクールバッグに使用されている校章のデザインが「わかすぎ」のイメージが最も伝わりやすい。

参考資料



第6回設置準備委員会資料で示した校章（学校要覧掲載）



周年事業記念誌より



スクールバッグの校章

2 キャッチフレーズ

校内検討委員会での検討の結果、以下の4つを候補案とする。

(案1)	「わかすぎ」スクール	(若い力の 限りない可能性 素敵な未来を 切り拓け)
(案2)	HOME	(HOPE ORIGINALITY MEMORIAL EVOLUTION)
(案3)	「こだま」スクール	(個性を大事にし 誰もが活躍しながら 学んでゆく)
(案4)	「ゆめかなう」学校	(ゆとりある時間帯と 恵まれた自然環境で 可能性を探りながら 何度でもチャレンジし 上のレベルを目指す)

なお、学校としての候補順番は 「わかすぎ」 HOME 「こだま」 「ゆめかなう」

参考資料

佐賀県立高等学校 キャッチフレーズ・キーワード一覧

	学校名	キャッチフレーズ キーワード
1	鳥栖	輝く鳥栖高生、輝く鳥栖高
2	鳥栖工	夢 実現
3	神埼清明	はずむ命 ひかる命 ー君と生きるためにー
4	多久	・・・自分の夢を形に・・・
5	唐津西	First Choice ・師弟同行
6	厳木	“夢は叶う、夢が叶う”
7	唐津商	挑戦・誠実・品格
8	伊万里	希望ゆたかに はばたけ明日へ
9	伊万里農林	飛躍する伊農林
10	伊万里商	共感・共学・共生
11	佐賀農業	農は国の基
12	鹿島	至誠一貫 自ら進んで捨石たるに甘んぜよ
13	太良	HOT School
14	嬉野	～嬉高から未来へ～ Chance・Challenge・Change

太良高校の「HOT School」は (H=Hope, O=Only one, T=Try)

「希望を持ち、かけがえのない自分を磨き、未来に向けて努力する学校」

という意味。

3 マスコットキャラクター

<検討案>

提案：「プティ」をマスコットキャラクターにしてはどうか

理由：

- ・ これまで、近隣小学校とコラボの経験があり、馴染みのあるキャラクター。
- ・ シンプルで、表情を工夫することで多様な場面で活用できる。

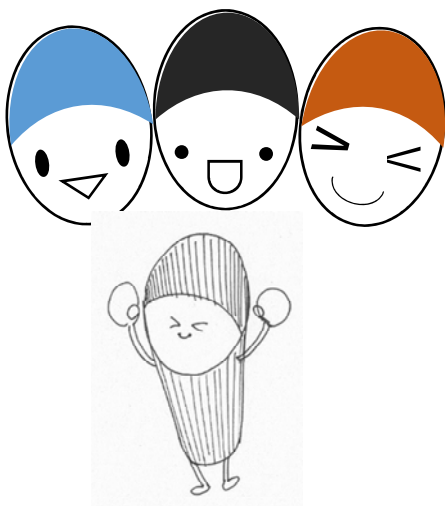
懸案事項：「プティ」という名称を使用することについては、著作権などの問題はないのか？



<プティ (プティリッツァア)>

【案1】 職員

- ・ 「プティ」から発想
- ・ 名称はキャッチコピー決定後
- ・ 胴体と手足をつけてもいい



【案2】 職員

- ・ 「杉の妖精」をイメージ
- ・ 複数でも、単体でも可
- ・ 名称はキャッチコピー決定後に命名



【案3】 生徒 (3年生)

- ・ 「木の妖精」のイメージ
- ・ 「杉」にはこだわらず？



【案4】 職員

- ・ 校章からのイメージ



参考資料

厳木高校生と箆木小学校児童によるプティリツァづくりの記事（市報からつ H24.1月号）

《厳木》森の妖精プティリツァ

厳木高校生と箆木小学校児童による「プティリツァ」づくりが、箆木小学校グラウンドで行われました。

プティリツァとは北欧の森の妖精で、自然を愛する人が住む地域の妖精として古くから言い伝えられています。

スギの間伐作業を見学し、森を守るには間伐が重要であると学んだ生徒らは、間伐材の切断面に顔を描いたプティリツァづくりを通し、今後も豊かな森林が守られていくことを願いました。（11月22日開催）



長野県南佐久郡小海町は「プティ（プティリツァ）」を町のマスコットキャラクターとしている

小海の森の小人プティリツァ



プティリツァとは、小海の森に住んでいると言われる森の小人です。300年以上生きていられる彼等は、現在の人間達が持っている感覚（視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚）の他に、彼等のもっとも嫌う利己エネルギー（自分だけ良ければと思う心）を敏感に察知する感覚を持っているため、豊かな自然環境とあたたかい心を持った人間の住む土地にしか生きられないと言われています。私達は小海町のこのすばらしい環境を末永く維持し、あたたかい心を伝えていくシンボルとして、プティリツァを小海町のキャラクターにしています。



町では、森林ボランティアの「小海やすらぎ隊」が間伐材を切り出し、まちづくりグループ「こうみ塾」のメンバーがそれを運搬・加工し、最後に町の小学生が顔を描くというように、住民が主体となってプティリツァの木像を作っている

制服・体操服

1 制服について

【案1】現行のまま(ただし、2つボタン化及び女子の中間服のベストの変更を検討する。)

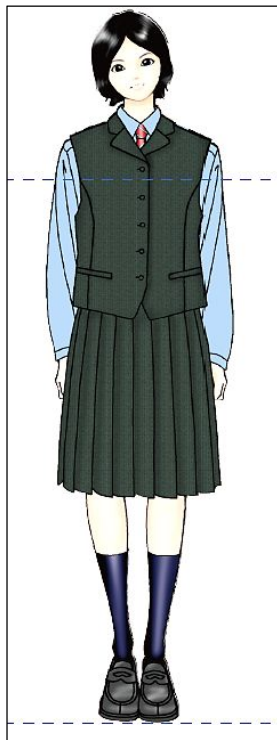
現行4ツ釦



2ツ釦



現行4ツ釦
ベスト



3ツ釦ベスト



【案2】変更する

<冬服>

男子...学ラン(金ボタン、濃紺色)

女子...ブレザー(2つボタン、濃紺色)ベスト(紺)スカート(青チェック柄)リボン(赤)



<夏服>

男子...ズボン(夏用)色つきシャツ(シャツだし)

女子...スカート(夏用)色つきシャツ(シャツだし)

2 体操服・バック等について

体操服...夏冬ともに変更

バッグ...変更なし

体験学習・総合的な学習の時間

1 体験学習について

(1) 設定科目(予定)

- 「体験学習基礎」(1年次必履修、2単位)... 校外の受け入れ先(事業所等)での体験学習
- 「栽培体験」(2年次選択、1単位 半期認定科目)... 学校農園における実習
- 「ボランティア」(1~3年次希望者)
- 「就業体験」(2年次希望者)

(2) 「体験学習基礎」の内容(現在の検討状況)

- 開講時期 : 1年次(通年)
- 修得単位数 : 2単位(週1回、5・6時間目(45分×2コマ))
- 参加人数 : 1グループ9人~13人×4講座×2日(曜日を変えて実施) = (80人が参加)
- 講座内容

A 「里山再生保全活動」

- 受入れ先 環境芸術の森(鶴松造園・鶴田さん)
- 参加人数 1グループ9人(公用車利用)
- 活動内容 環境保全活動・清掃活動・活動レポート及び発表

B 「果樹・野菜栽培実習①」

- 受入れ先 浦川内地区のみかん農家(地主 篠原さん)
- 参加人数 1グループ9人(公用車利用)
- 活動内容 耕作放棄地の再生・収穫作業・活動レポート及び発表

B 「果樹・野菜栽培実習②」

- 受入れ先 学校から300m離れた休耕田
- 参加人数 1グループ9人(徒歩移動)
- 活動内容 野菜作り・収穫作業・活動レポート及び発表

C 「介護・保育ボランティア」

- 受入れ先 寿光園・さくれい・アメニティー庵木、中島保育園 等へ依頼
- 参加人数 1グループ13人(自転車移動)
- 活動内容 高齢者、園児との交流・清掃・訪問の為の作品制作・活動レポート及び発表

時間設定(例)

	内容	時間(校時案)	備考
1	学校出発・作業内容説明	14:00 ~ 14:30	・作業体験中の休憩は指導者の指示で適宜行う。 ・事前説明、学習内容整理は校内で実施する場合も考えられる。
2	作業体験	14:30 ~ 15:30	
3	講評及び後片付け	15:30 ~ 15:35	
4	作業終了・学校到着	15:35 ~ 15:55	

移動手段 : 公用車(ワゴン車等)、自転車、徒歩

体験学習に必要な備品等(詳細は今後検討)

例(作業着・長靴・剪定ハサミ・草刈鎌・電動草刈り機・清掃道具・など)
軍手・エプロン等は持参?

2 総合的な学習の時間について

1年次の1単位は、従来どおりクラス扱いとし、テキストを使った進路学習中心とする。

2年次の2単位は、基本的に体験活動を中心とする。

- ・ 従来開設していた講座のうち、新設の選択科目と同名の講座は名称を変更する。
- ・ 「サーベイオブスポーツ」は廃止。すべて通年の講座とする。
- ・ 開設予定講座(体験活動) : ボランティア・パソコン応用・ライフスキル・和裁
ビジュアルコミュニケーション
エンジョイミュージック 改称 実用書道 改称
- ・ 実質的な活動は12月までとし、1月以降は発表準備・成果発表会とする。

学校設定教科・科目について

1 新高校の学校設定教科・科目について

(1) 担当教科の割振り(案)

教科	科目	開設予定の学校設定科目
国語		日本語教養、佐賀の言語と文化、文字言語力基礎
地歴・公民		地歴演習、郷土学習
数学		数学基礎、実用数学
理科		栽培体験、自然と実験
英語		実用英語、ビジュアル英語、ビジュアル英語
体育		体験スポーツ、ニュースポーツ
芸術	音楽	音楽演習、エンジョイミュージック
	美術	素描基礎、クラフト
	書道	書道演習、実用書道
情報		ICT活用基礎、パソコン演習、マルチメディア実習
商業		秘書実務、簿記演習、マーケティング実習

「佐賀の言語と文化」は国語科で授業計画は立てるが、授業の実施はできれば外部講師が望ましい。

「理美容体験」は、学校設定科目ではなく、進路ガイダンスやオープンキャンパス等での体験とし、教養の選択科目から外す方向で検討する。

各教科でシラバスの検討・作成中

(2) 指導体制、連携・協力先等(案)

「佐賀の言語と文化」「郷土学習」「栽培体験」等は、それぞれ専門の外部講師が必要となる見込み。

「体験スポーツ」「ニュースポーツ」は、カヌー協会・唐津市のスポーツ振興課等と連携して実施。

「マーケティング実習」は、道の駅敵木、商店・スーパー等と連携して実施。

部活動について

1 部活動指導目標（平成30年度（案））

部活動を通じて、学校への所属感、学校生活に対する目的意識を高めるとともに、自己肯定感、思いやりと協力の精神を育て、生徒の人間形成に役立てる。

地域の人々や保護者との連携を図り、心身共に健全な生徒の育成に努める。

2 部活動編成及び今後のスケジュール

部活動	H28	H29	H30	H31	H32	
アーチェリー（男女）	①6					
サッカー	②4①11					
野球	②8①2					
バスケット（男）	②3①4	募集停止	募集停止	廃部		H31～廃部
バスケット（女）	②4①3	}	}	}	}	H29～インドア
バレーボール（女）	②4①6					インドアスポーツ（女）
ソフトテニス（男）	②1①7					
ソフトテニス（女）	②4①8					
ソフトボール（女）	②1	廃部				H29～廃部
弓道	②0①4	募集停止	募集停止	廃部		H31～廃部
陸上	②2①3	募集停止	募集停止	廃部		H31～廃部
卓球同好会（男女）	②2①4		卓球部			H30～部に昇格
放送	②2①1					
美術	②3①3					
書道	②3①1					
食物手芸	②4①7	食物研究				H29～改名
ボランティア	②13①9					H28～登録制
茶道	②2					
音楽	②3①6	募集停止	募集停止	廃部		H31～廃部
パソコン検定			新設			H30～新設

新たな部活動候補として挙げていた「女子サッカー」「トレーニング」
「環境については、開設しない。」

年間行事計画について

平成30年度 年間行事計画(案)

●前期	行 事	
4月	入学式 対面式 部活動紹介、体験入部、部活動編成会	●若杉祭 <体育祭> ①応援合戦無し。 ②競技の予選無し。 ③13時半終了予定。 <文化祭> ①授業作品展示 ②文化部作品展示発表 ③クラス発表 ④食物バザー等 (家庭研究部、保護者会)
5月	開校記念式典、開校記念行事(記念登山3年に一度程度)、ソロプチミスト入会式、生徒総会 中間考査	
6月	高校総体・NHK杯・九州大会壮行会	
7月	全国大会・高校野球壮行会、 クラスマッチ(前期) 期末考査	
9月	若杉体育祭 生徒役員改選・立会演説会・投票	
●後期		
10月	生徒会役員交代式	
11月	若杉文化祭(11月下旬~12月) 中間考査	
12月	クラスマッチ(後期) (~1月)	
1月		
2月	体験学習発表会 学年末考査	
3月	卒業式	
●通年	●全校挨拶運動 ●部室点検	

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
 - 二 新高校の施設・設備に関すること
 - 三 新高校への円滑な移行に関すること
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

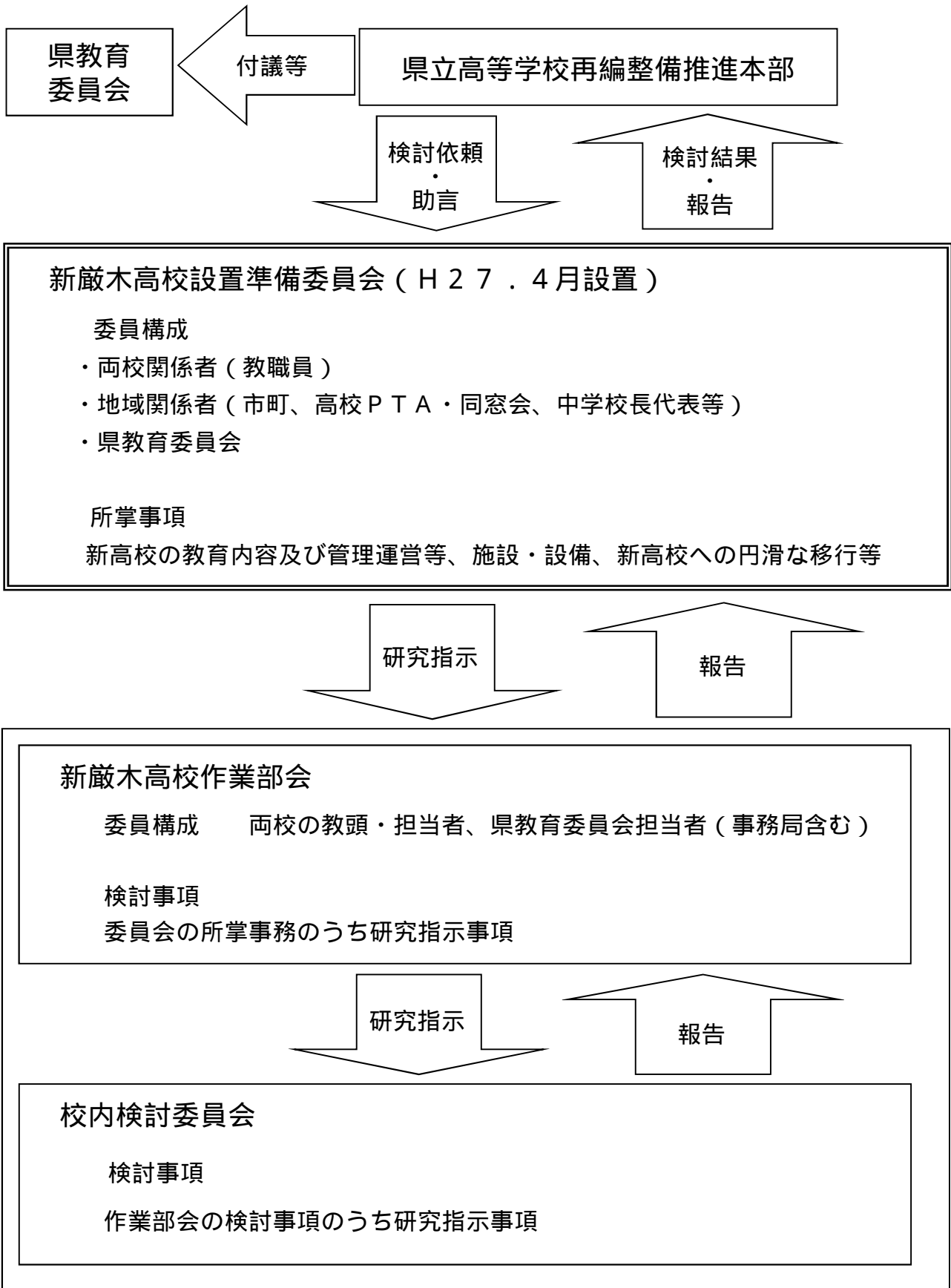
(補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校

新巖木高校設置に向けた検討体制



資料 10 新 庵木高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	庵木高等学校 校長	馬場 知之	委員長・学校関係者	
2	庵木高等学校 教頭	北村 敬	副委員長・学校関係者	
3	庵木高等学校 事務長	円城寺 弥生	学校関係者	
4	唐津市教育長	稲葉 継雄	唐津市	市町関係者
5	唐津市 庵木市民センター長	市丸 信一		
6	庵木高等学校 同窓会代表	米倉 憲一郎	地元関係者	
7	庵木高等学校 PTA代表	濱村 宜弘		
8	唐津市立庵木中学校長	篠原 智文	中学校関係者	
9	教育総務課長	源五郎丸 靖	県教委関係者	
10	教育振興課長	五反田 進		
11	特別支援教育室長	馬場 浩輔		
12	教育情報課長	碓 浩一		
13	教職員課長	福地 昌平		
14	学校教育課長	松尾 敏実		
15	保健体育課長	吉松 幸宏		
16	県立高校再編整備推進室長	原 和弘		
17	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
事務局	庵木高等学校 指導教諭	藤田 務		
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司		
	県立高校再編整備推進室 企画主査	高山 裕樹		